

横須賀港は、北は横浜市に接する夏島町から南は野比海岸までの海岸延長が約 61km で 13 地区に分かれ、各地区の特性も異なるため、その地区の特性に合わせた整備が必要となりますが、浅海域の整備場所としては整備による効果が十分に期待できることが求められます。

そこで、パブリックアクセスの確保や海岸侵食をはじめ、横須賀港の現状と課題を考慮しながら、当該事業を進める必要性がある以下の 9 地区を候補地として考えました。

しかし、これらの各候補地では、「3 浅海域の利活用方法」で整理した利活用のための条件をすべて満たしている訳ではなく、また、地域のニーズや課題なども異なります。

このため、各候補地における利活用の適応性や海域環境に対する効果等を検証することとし、まずは 9 地区の周辺状況や社会特性、底生生物の個体数や多様度⁶⁾などの環境特性(図 4-1)、波浪などの自然特性(図 4-2)について整理しました。

1) 追浜地区リサイクルプラザアイクル前面海域

《周辺状況》

- 横須賀港港湾区域の最北部である追浜地区は工場地帯が広がり、水際線は直立護岸のため、海にふれられる場所が少ない。

《社会特性》

- 鉄道駅から遠いが、背後地には市の施設があり、駐車場が利用可能である。
- 集客に力を入れている地域であり、地元企業も各種イベントを実施している。
- 対象海域の前面は区画漁業権区域(ワカメ、コンブ)である。

《環境特性》

- 閉鎖的な海域である北部地域の中でも比較的底生生物の多様度が高く、個体数も多い。また、市民団体によるアマモ移植も実施されている。

《自然特性》

- 比較的高波浪が来襲する。(砂を用いた浅場等の造成を実施する場合には、砂を留めておくための防護施設等が必要になる)



6) 多様度(指数)

生物群集の多様性を表すための指数で、群集に含まれる種類数のほか種がどれほど均等に存在するか(均等度)を考慮している。数値として「1」に近いほど生物相が多様で、「0」は1種類の生物が独占的に生息していることを表す。

② 深浦地区前面海域

《周辺状況》

- 湾の北側は企業が立地し、西側は住宅が密集している。
- 湾の周囲には遊歩道が整備されているが、海にふれられる場所は少ない。

《社会特性》

- 湾内には深浦ポートパークや物揚場があり、狭い湾内において漁船やプレジャーボートが航行している。
- 観光資源が少ない。

《環境特性》

- 閉鎖的な北部地域にあり、底生生物の多様度が低く、アマモも生育しにくい環境にある。

《自然特性》

- 内湾部のため波浪条件は比較的穏やかである。



③ 長浦地区緑地護岸前面海域

《周辺状況》

- 地区の大部分に海上自衛隊や米軍施設があり、海にふれられる場所は少ない。

《社会特性》

- 背後地には港湾計画に位置付けられている緑地整備の計画があり、地域住民からも早期整備を望む声が多い。
- 海上自衛隊や米軍施設が立地し、艦船が航泊する地域である。

《環境特性》

- 底生生物の多様度が低い。

《自然特性》

- 内湾部のため波浪条件は比較的穏やかである。



④ 本港地区ヴェルニー公園前面海域

《周辺状況》

- 地区の大部分に海上自衛隊や米軍施設があり、海にふれられる場所は少ない。

《社会特性》

- 背後地は傾斜地のため住宅地ではないが、ヴェルニー公園、「軍港めぐり（観光船）」の発着所、大型商業施設があり、観光客や買い物客が多い。



- 海上自衛隊や米軍施設があり、艦船を間近で見られるなど横須賀らしい光景であるが、米軍提供水域に隣接しているため、整備の際には調整が難航する可能性がある。

《環境特性》

- 底生生物の多様度が低く、個体数も少ない。

《自然特性》

- 内湾部のため波浪条件は比較的穏やかである。
- 風の吹き寄せにより漂流ごみが漂着している。

⑤ 新港地区猿島周辺海域

《周辺状況》

- 猿島は東京湾唯一の自然島（無人島）である。

《社会特性》

- 猿島への渡船は、波浪条件や時間帯で利用が制限される。
- 海水浴やバーベキューなど観光客が多い。



《環境特性》

- 底生生物の多様度が比較的高く、個体数も多い。漁業者によるアサリの採取も行われている。

《自然特性》

- 比較的高波浪が発生し、波浪状態も多様である。（砂を用いた浅場等の造成を実施する場合には、砂を留めておくための大規模な防護施設等が必要になる）
- 近年は、砂浜の砂が西側へ移動し、南側の砂浜幅が狭くなっている。

⑥ 平成地区うみかぜ公園前面海域

《周辺状況》

- 背後地には、国道16号に繋がる臨港道路、マンション群、大学、大型商業施設が立地している。
- 「うみかぜ公園」の一部は親水護岸として整備され、海に直接ふれられる。

《社会特性》

- 「うみかぜ公園」ではバーベキューが楽しめ、休日は多くの人で賑わう。また、夏には海をテーマとしたイベントを開催している。



《環境特性》

- 底生生物の多様度は高いが、個体数は少ない。

《自然特性》

- 比較的高波浪である。(砂を用いた浅場等の造成を実施する場合には、防護施設等が必要である)
- 海底は急深な地形である。(整備の際には事業費が大きくなる可能性がある)

⑦ 走水（伊勢町）地区前面海域

《周辺状況》

- 天然の磯場や砂浜が点在する。

《社会特性》

- 背後地は少数の漁村集落だが、春や夏には潮干狩りや海水浴など観光客で賑わい、また、馬堀海岸のpromenadeに隣接し、地域住民が散歩やジョギングを楽しんでいる。
- 対象海域の前面は区画漁業権区域が設定され、のり養殖が行われている。



《環境特性》

- 底生生物の多様度が高く、個体数も多いため、市民団体による観察会が実施されている。
- アマモの種の採取場としても利用されている。

《自然特性》

- 比較的高波浪が発生する。(砂を用いた浅場等の造成を実施する場合には、砂を留めておくための防護施設等が必要になる)
- 北系の高波浪の影響により、海岸侵食や砂の移動が発生している。

⑧ 浦賀地区住重護岸前面海域

《周辺状況》

- 水際線は人工構造物で占められ、海にふれられる場所が少ない。

《社会特性》

- 背後地は民間事業者による開発予定地であるが、未開発のままとなっている。
- 周辺は市街化調整区域であることから、住宅がほとんどない。

《環境特性》

- 底生生物の多様度は高いが、個体数は9候補地の中では中程度である。

《自然特性》

- 比較的高波浪が発生する。(砂を用いた浅場等の造成を実施する場合には、砂を留めておくための防護施設等が必要になる)
- 高波浪時には、護岸の越波が顕著である。



⑨ 久里浜（長瀬）地区前面海域

《周辺状況》

- 平作川河口部の南側には砂浜海岸、北側には天然の磯場がある。

《社会特性》

- 背後地には港湾計画に位置付けられている緑地整備の計画がある。
- 市街地から近く、背後地の久里浜は市内で最も人口が多い。
- 付近には港湾に関する研究機関が立地し、当該事業において協働での取り組みが期待できる。

《環境特性》

- 底生生物の多様度が高く、個体数も多い。港内にはアマモが生育している。

《自然特性》

- 港内であるが比較的高波浪が発生する区間がある。(砂を用いた浅場等の造成を実施する場合には、波浪から防護する施設が必要になる)
- 高波浪時には、道路への越波被害が発生している。



図4-1 環境特性（底生生物の個体数や多様度等）

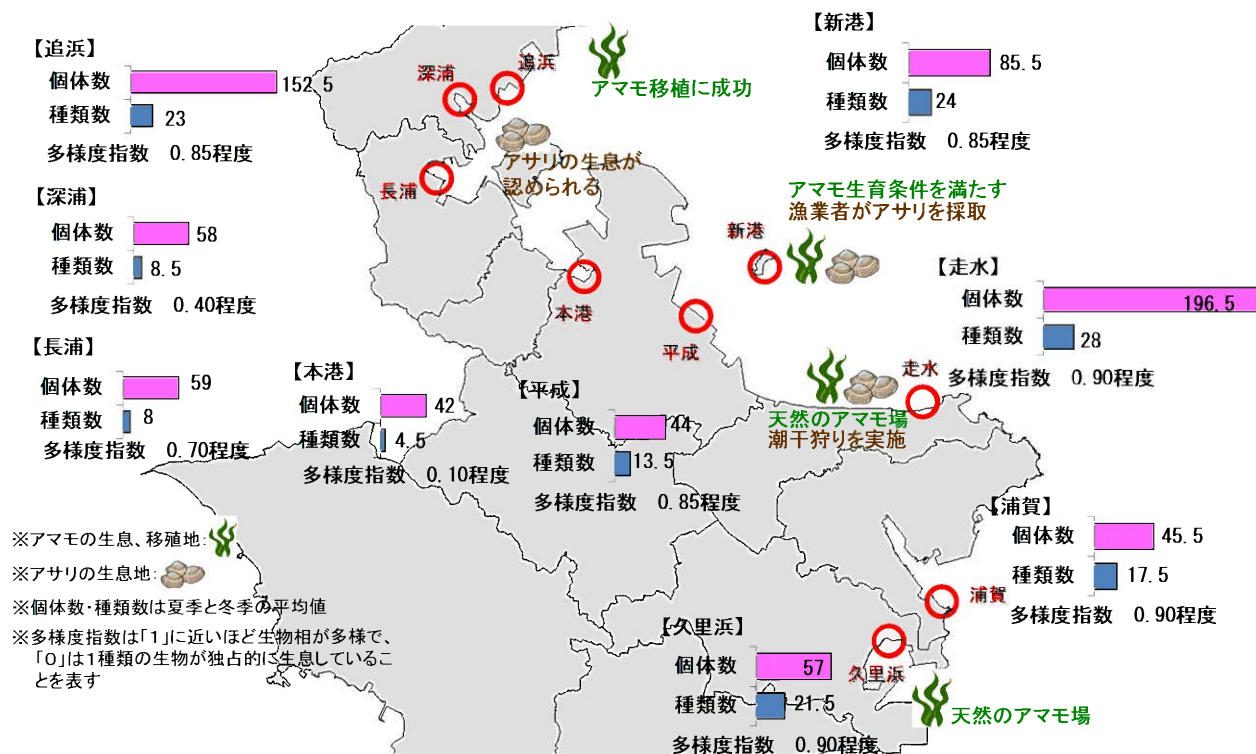


図4-2 自然特性（波浪等）

